

新型 クライスラー・グランドボイジャー、アジアで初公開

- ミニバンセグメントの基準を変える、クライスラー・グランドボイジャー
- 外観をリフレッシュしたクライスラー・300C を日本初公開
- 革新的な商品を導入し続けるクライスラーブランド

東京 — インテリアとエクステリアのデザインを一新し、30 を超える新装備、改良装備を加えた新型 クライスラー・グランドボイジャー。ミニバンセグメントの基準を大きく変えるモデルが、第 40 回東京モーターショー 2007 において、アジアで初めて公開されます。また同時に、最新の技術でクラシックなデザインを実現したクライスラー・300C もリフレッシュし、初公開されます。

東京モーターショーに用意したラインアップにより、クライスラーブランドは引き続き、高いレベルの品質、安全性、革新技術、価値とともに、洗練されたドライビングパフォーマンス、ゆったりとしたエレガントなスタイルを提供するユニークな能力を訴求していきます。

こうしたバリューは、1920 年代始め、ウォルター・P・クライスラーとそのパートナーたちが、クライスラーブランドの製品は「革新的で、第一級のエンジニアリングで知られたリーズナブルな価格の『高級』車であるべき」と定めて以来、クライスラーブランドの中核であり続けてきました。

新型 クライスラー・グランドボイジャー

元祖ミニバンのクライスラー・グランドボイジャーがニューモデルの登場により、一新されました。最新のグランドボイジャーには、クリーンかつ独特なエクステリアデザインに、洗練された上品なインテリアと数多くの新装備・改良装備を与えました。

今回、新型グランドボイジャーに与えられた 2 つの新システム、ファミリー用途やビジネス用途で 2 列目と 3 列目のシートを便利に使用できる Swivel 'n Go™(2 列目回転式)シートシステム、そしてワンタッチ電動格納式 3 列目シートはいずれも、競合モデルとはあらためて一線を画す、クライスラー MPV(マルチ パーパスビークル)のユニークな装備です。

Swivel 'n Go シートシステムは、180 度回転させて 3 列目と対面させることのできる 2 列目シート、2 列目および 3 列目の間に設置する取り外し式テーブル、2 列目シートフロアに設置されるカバー付き収納ボックス、3 列目のカバーなしボックス、床下格納式 3 列目シートを備えています。標準では、クライスラー独自の Stow 'n Go™シート(2 列・3 列目床下収納シート)が装備されます。電動格納式 3 列目シートについては、どちらの 2 列目シートシステムとも組み合わせて装備することができます。

財布を入れるのに十分なスペースのある新開発の取り外し式スライディング・フロントコンソール、ヒーター付き 1 列目／2 列目シート(レザー)、リアビュー・インテリア・カンバセーション・ミラー、汚れや臭いが付きにくく、静電気の起こりにくい YES Essentials®ファブリックシート、リアクオーターパネル内の充電脱着式フラン

ュライト、1列目／2列目パワーウィンドウ、2列目／3列目格納式サンシェード、パワースライディングドア、パワーリアリフトゲート(リモコンキーおよびリアピラーにスイッチ付き)、アンビエント間接照明、可動式スポットLED読書灯、マップランプ、3ゾーンエアコンディショナーなどの快適・便利装備も充実しています。

ユーザーとそのファミリーのニーズを満たすために、これまでのクライスラーのミニバンを上回る数の安全／セキュリティ装備を標準装備しています。

また、今回初めて 6速オートマチックトランスミッションを採用し、3.8リッターV6ガソリンエンジンと組み合わされています。

日本市場には、2008年に導入予定です。日本仕様の詳細は未定です。

外観をリフレッシュしたクライスラー・300C

スタイルを新たにしたクライスラー・300C も、東京モーターショーで展示されています。きわめて印象的なそのエクステリアデザインはリフレッシュされ、テールランプに小変更が加えられました。今回の 300C にはトランクリッドに SRT 風の一体型spoイラーとハイマウントストップランプを装備しました。

インテリアデザインも以下のように高級感の向上を図りました。

- 新デザインのインストルメントパネルおよびセンターコンソール
- アームレストおよびドアパネルへの表面触感の柔らかい素材の採用
- フロントカップホルダーおよびフロント／リアドアマップポケットの LED 照明

すでに装備されている数多くの安全装備の他に、前後サイドカーテン エアバッグに加えてシートマウントエアバッグを採用し、ドライバーと乗員の安全性の向上を図りました。

エンジンは引き続き、3.5 L V6、5.7 L HEMI®V8 の 2 種類が用意されます。300C セダンの、V8 エンジン搭載車に燃費低減を目的とした可変シリンダーシステム(MDS: Multi-Displacement System)を採用しています。

300C SRT8 にもフレッシュで新しいエクステリアと、高級感の向上したインテリアが与えられています。300C SRT8 モデルには引き続き、6.1リッターHEMI V8 エンジンが搭載されています。

今回スタイルを一新したクライスラー・300C シリーズの日本での販売開始は、2008 年を予定しています。

クライスラーブランド

クライスラー社の販売における、北米以外の国際市場でのクライスラーブランドの占める割合は 38 % です。クライスラーブランドの北米以外の国際市場における 2007 年販売台数は 63,537 台(1～9月実績)です。

クライスラーブランドの日本における現在のラインアップは以下のとおりです。クロスファイア ケーペ、300C セダン／ツーリング、300C SRT8、PT クルーザー セダン／カブリオ、ボイジャー／グランドボイジャー。